

2024年12月期 第3四半期決算説明資料

株式会社ツバキ・ナカシマ
(証券コード6464 東証プライム市場)

2024年11月11日



FY2024 第3四半期の概要

売上収益 (億円) 営業利益 (億円) EBITDA (億円)

583.2 **25.7** **50.6**

前年同期比 +3.1%
除為替影響 ▲4.7%

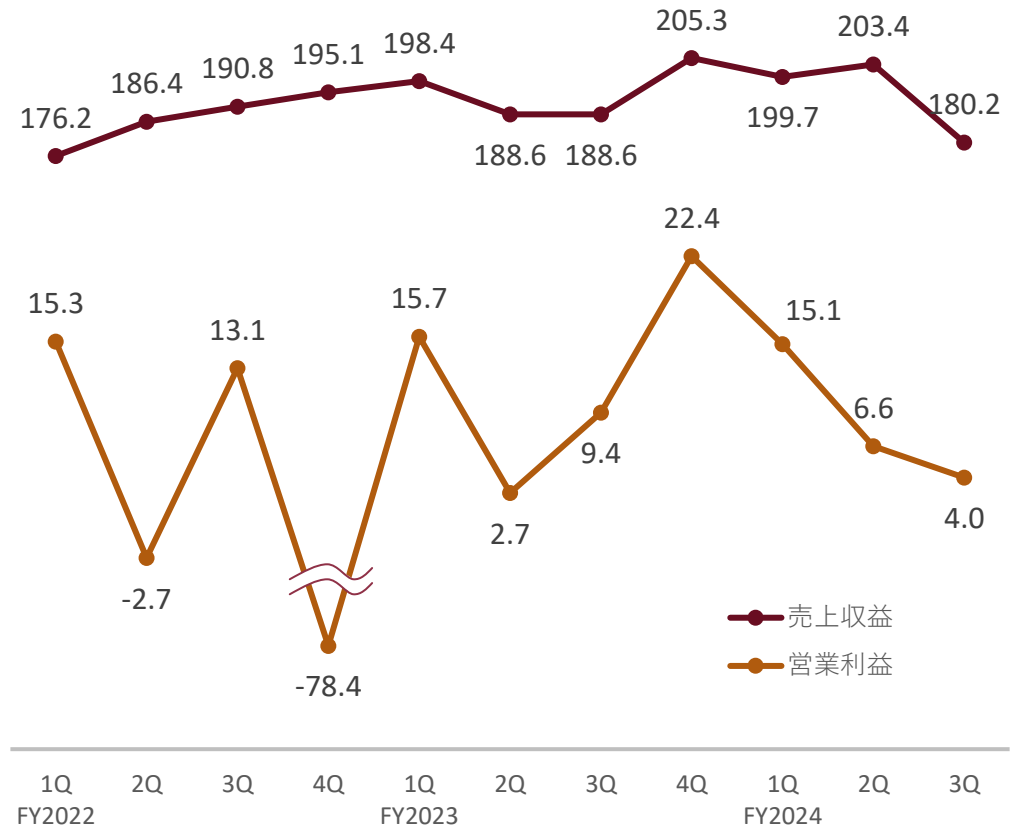
前年同期比 ▲7.4%
除為替影響 ▲13.5%

前年同期比 +2.0
除為替影響 ▲1.4%

(単位: 億円)

- 売上収益については日本における一部自動車メーカーの生産・出荷の停止や、グローバルにわたる一般産業機器、工作機械の需要回復の遅れにより数量ベースでは減少も、円安寄与により前年同期比で**3.1%**増で着地
- 成長戦略では、セラミックボールの売上が、前回予想よりも更に落ち込み、見通しを下方修正
- 営業利益については、前期に計上した工場閉鎖費用が無くなったことや、コスト改善の効果が見られた一方、為替影響を除いた売上収益の減収、及び上期に続けて資産効率化に向けて棚卸資産の評価損等を計上したことから、前年同期比で**7.4%**減で着地
- 第4四半期は、需要回復の遅れが続き、利益の更なる落ち込みが予想され、ガイダンスを下方修正
- 期末配当は10円/株の予定。中間配当(15円/株)とあわせ、年間25円/株の予定
- 次期中期経営計画は、来年2月に発表予定

四半期連結業績推移

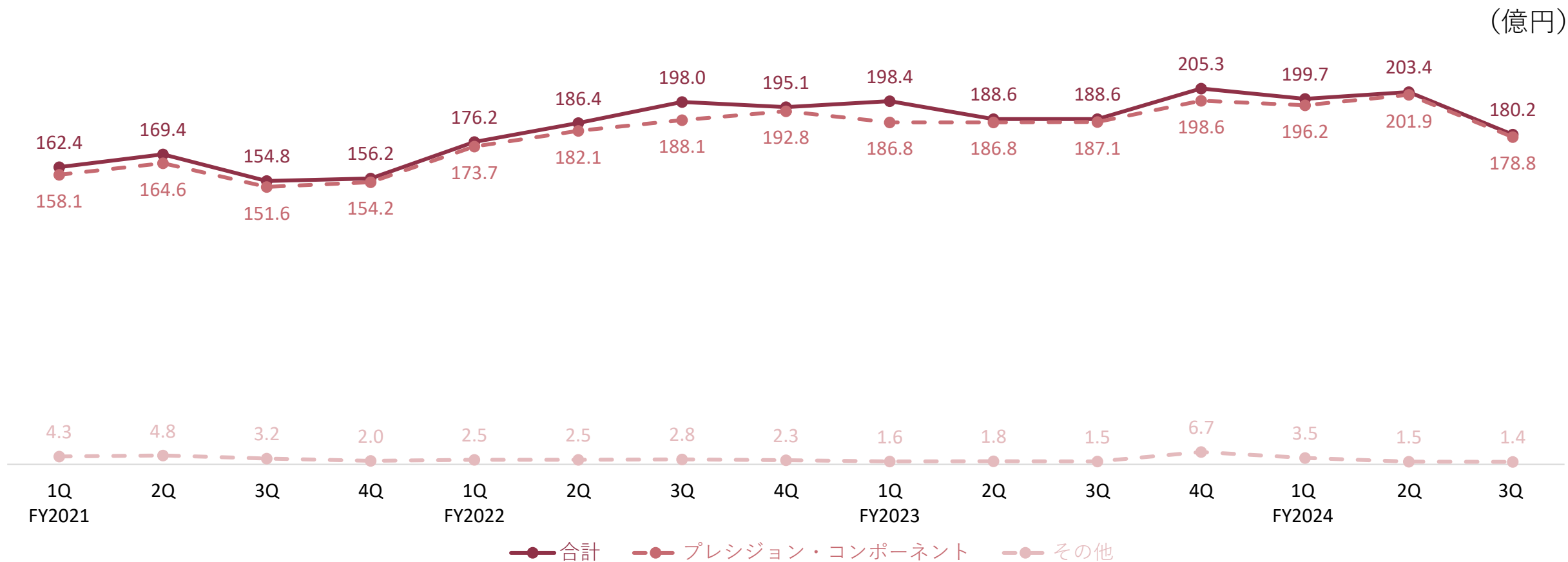


※本資料では、業績は、非継続事業を除いた継続事業のみの数字を中心に開示しています。



四半期 連結売上収益推移（継続事業のみ）

プレジジョン・コンポーネント売上収益：前年同四半期比4.4%減、前四半期比11.4%減
 その他売上収益：前年同四半期比11.8%減、前四半期11.2%減

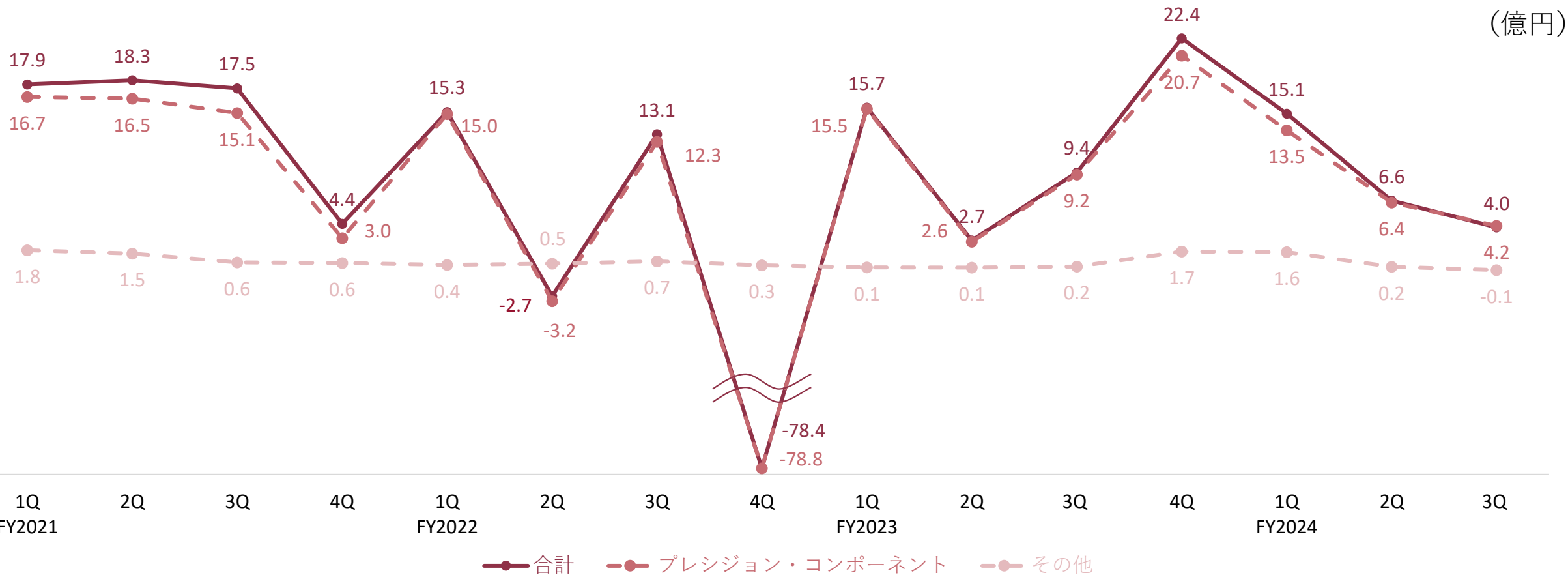


※ 2023年末までの上記数字は会計監査人の監査は受けておりません



四半期 連結営業利益推移（継続事業のみ）

プレジジョン・コンポーネント営業利益：前年同四半期比54.6%減、前四半期比35.3%減
 その他営業利益：第3四半期は赤字



※ 2023年末までの上記数字は会計監査人の監査は受けておりません



FY2024 第3四半期連結業績（前年同期比）

為替影響を除いた売上収益は前年同期比4.7%減。各業界の需要回復の遅れなどを反映し、上期の前年同期比3.3%減から更に減収幅が広がる。利益に関しては、前年同期比でマイナスに

(億円)

	FY2023	FY2023	FY2024			
	3Q累計	3Q累計	3Q累計			
	実績 (非継続事業を含む)	実績 (継続事業のみ)	実績 (継続事業のみ)	為替影響	増減額 ^{※1}	増減比 ^{※1}
売上収益	591.9	565.5	583.2	44.1	▲ 26.4	▲ 4.7%
営業利益	27.8	27.8	25.7	1.7	▲ 3.7	▲ 13.5%
対売上(%)	4.7%	4.9%	4.4%	—	—	—
EBITDA	51.3	49.6	50.6	1.7	▲ 0.7	▲ 1.4%
税引前利益	27.1	26.8	15.8	1.6	▲ 12.6	▲ 46.9%
当期利益	11.9	11.9	7.4	1.1	▲ 5.6	▲ 47.0%

※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

FY2024 第3四半期セグメント・地域別売上（前年同期比）

為替影響を除いた地域別売上収益は上期の状況から傾向は変わらず、欧米が前年同期比2桁マイナスに。一方、中国は輸出が堅調で同5.8%増

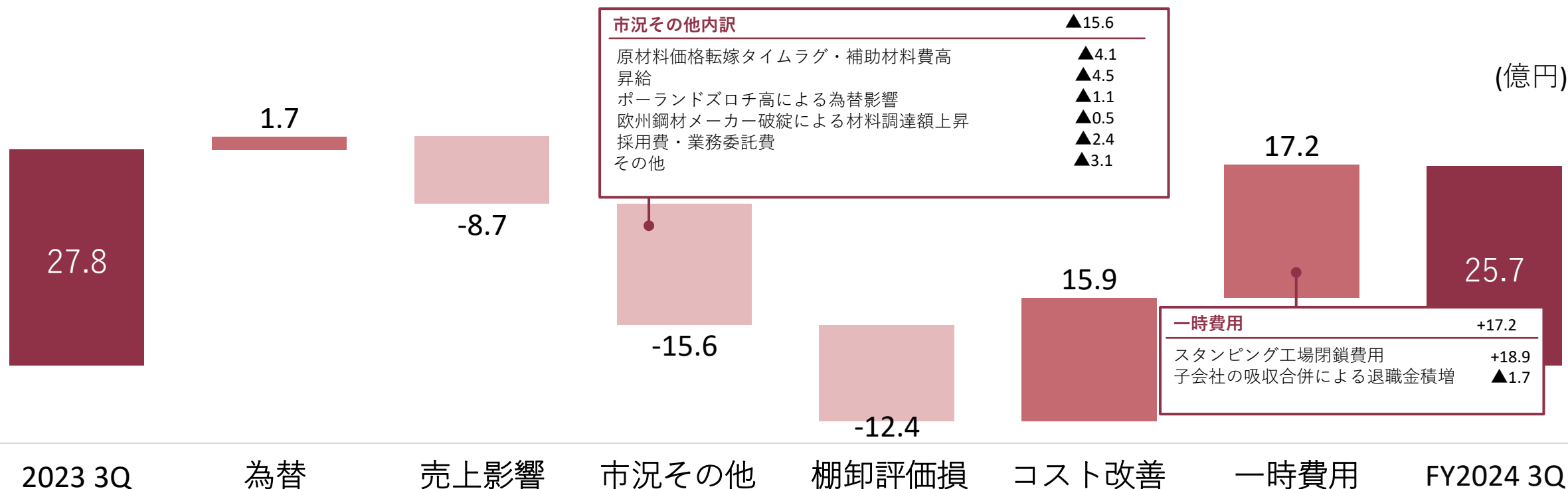
（億円）

	FY2023 3Q累計	FY2023 3Q累計	FY2024 3Q累計			
	実績 (非継続事業を含む)	実績 (継続事業のみ)	実績 (継続事業のみ)	為替影響	増減額 ^{※1}	増減比 ^{※1}
グループ連結	591.9	565.5	583.2	44.1	▲ 26.4	▲ 4.7%
プレジジョン・コンポーネント ^{※2}	560.7	560.7	576.9	44.1	▲ 27.9	▲ 5.0%
日本	103.5	103.5	88.8	0.0	▲ 14.7	▲ 14.2%
北米	116.8	116.8	114.7	10.4	▲ 12.5	▲ 10.7%
欧州	202.0	202.0	200.3	21.3	▲ 23.0	▲ 11.4%
中国	110.0	110.0	125.4	9.0	6.4	5.8%
アジア（除中国）	28.4	28.4	48.1	3.4	16.2	56.8%
その他	31.2	4.8	6.3	0.0	1.5	30.8%

※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く
 ※2 地域間の連結消去後

FY2024 第3四半期営業利益増減要因

前期に計上した工場閉鎖費用が無くなったことや、コスト改善の効果が見られた一方、為替影響を除いた売上収益の減少、及び上期に続けて資産効率化に向けて棚卸資産の評価損を計上したことから、営業利益は、前年同期比7.4%減の25.7億円となりました

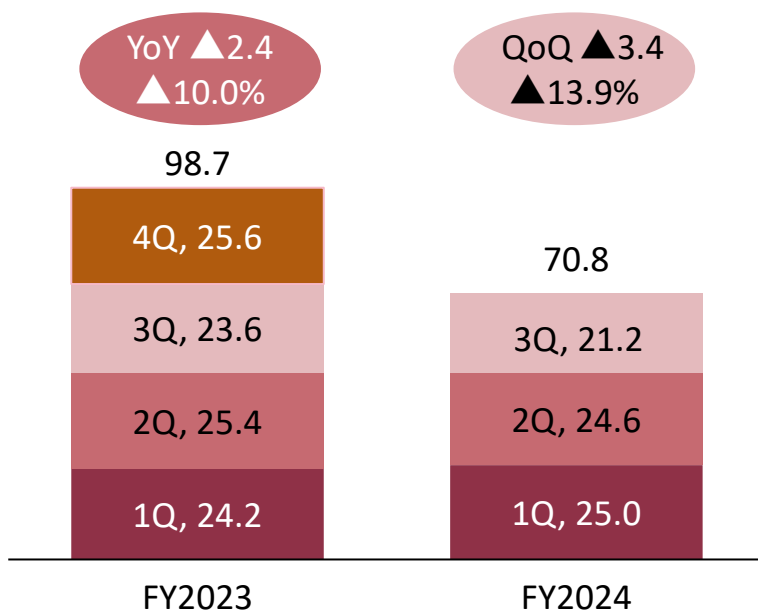


成長戦略の進捗（FY2024 第3四半期迄）

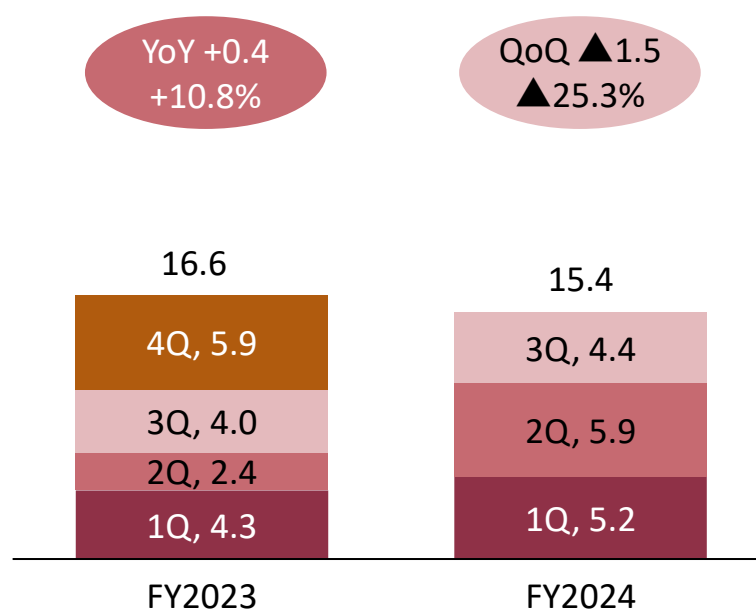
「セラミックボール」が引き続き軟調、「メディカルデバイス」が前四半期比マイナスに転じる一方、「アジア地域の拡販」では、インドでの販売が牽引しプラスに転じる

(億円)

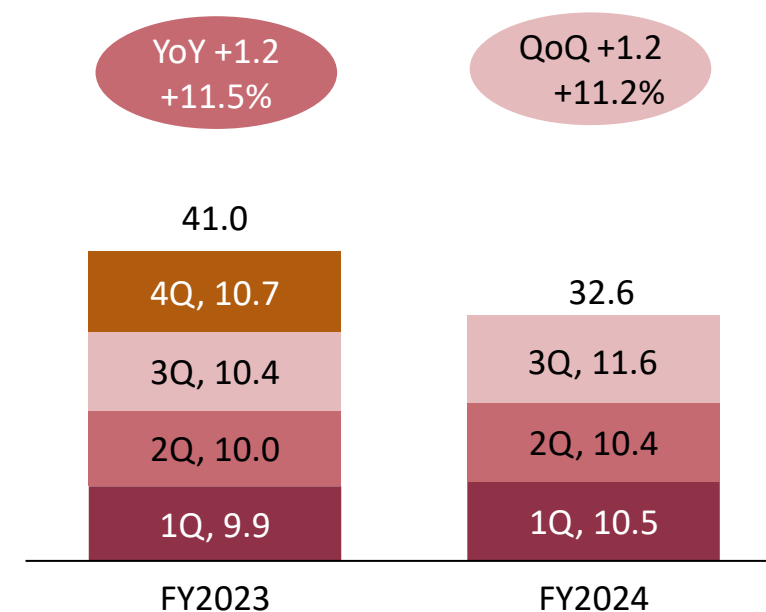
セラミックボール



メディカルデバイス

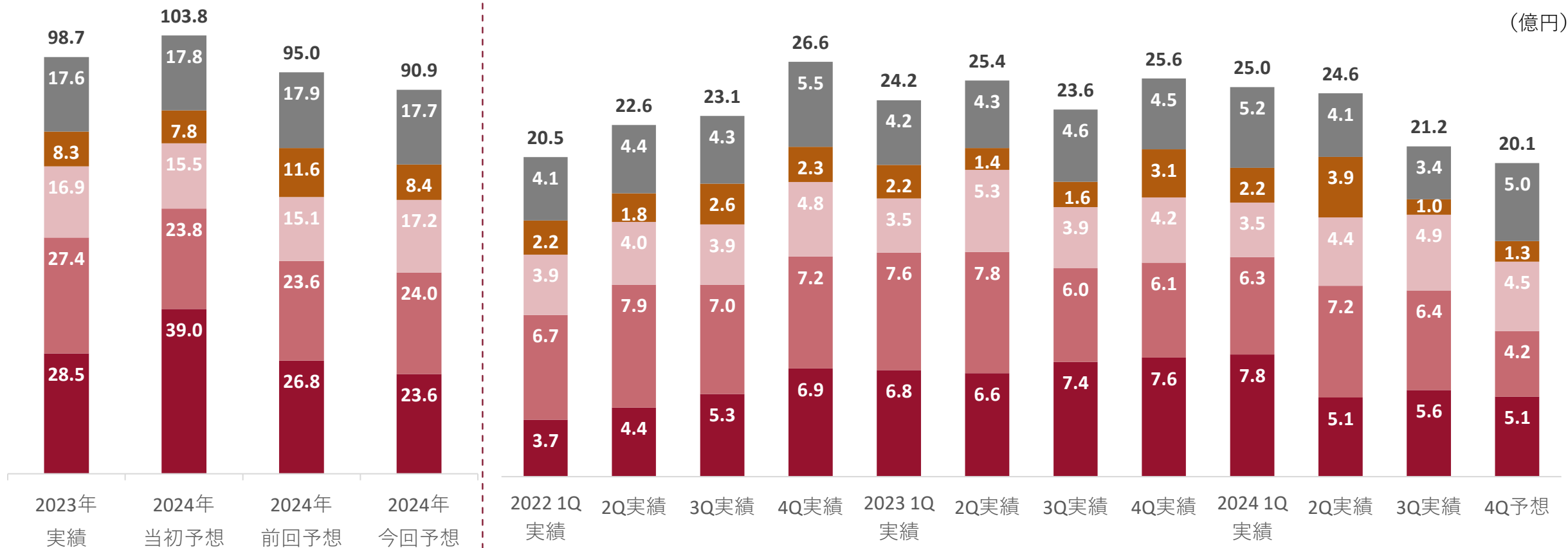


アジア地域での拡販 (除く中国、セラミック)



セラミックボールの用途別売上高推移及び予想

年間売上高予想は、EV向け、半導体向けを中心に需要が予想を下回り、前回から更に下方修正



(億円)

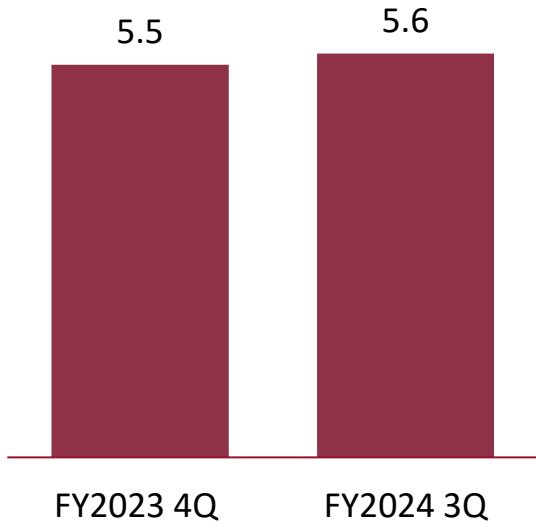
■ EV ■ 工作機械・スピンドル ■ 一般産業用 ■ 半導体 ■ その他



BS / CF における業績

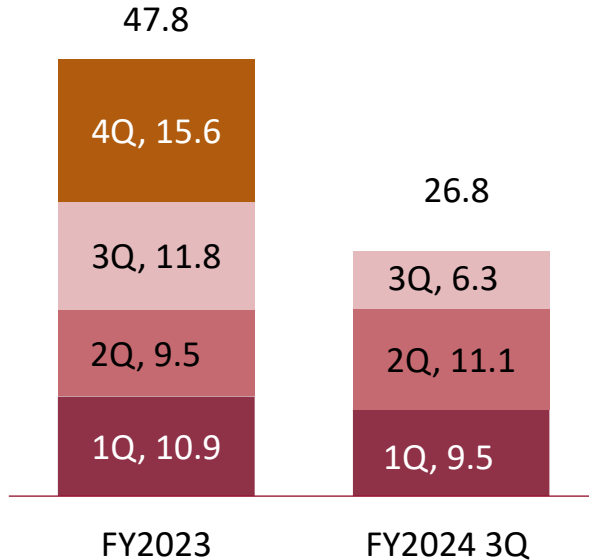
棚卸資産回転月数(月)

上半期の5.8月から0.2月の改善



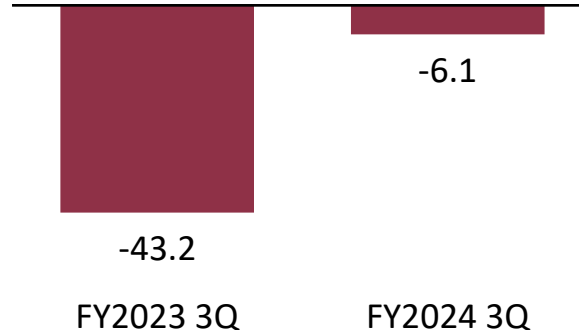
設備投資額(億円)

予算の範囲内で計画的に推進



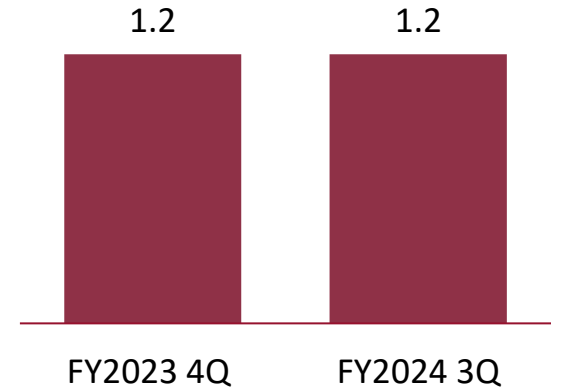
フリーキャッシュフロー(億円)

- ・売上債権を主にした運転資本改善 +17.5
- ・構造改革費用 (2023年ローラー vs 2024年スタンピング) +8.9
- ・CAPEX減 +5.4
- ・その他 +5.3



ネットDEレシオ(%)

前期と同水準



サステナビリティへの取り組み

持続可能な開発戦略

- ✓ エネルギー消費の削減
- ✓ 太陽光発電システム
- ✓ 再生可能エネルギー証書を活用したグリーン・エネルギーの購入
- ✓ 挑戦：高稼働率によるTNプラントの全般的な効率の向上
- ✓ TNプラントの電化



- 2030年までに2022年比 42%
- 2050年までのカーボンニュートラル達成を目指す

カーボンフットプリント

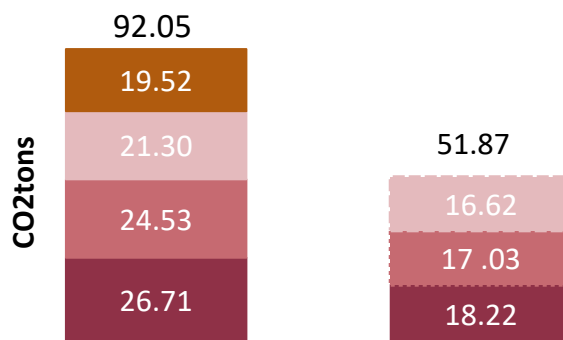
CO ₂ tons/tons	2023	YTD 24 (Q1+Q2+Q3)	% 24 vs 23
Japan	1,10 1.01 *	0,92 0,70 *	-20% -44%*
Europe	1,04	0,78	-33%
Ceramic	19,3	11,9	-62%
China	0,99	0,65	-53%
Americas	0,81	0,73	-11%
EPC	1,52	1,41	-8%
TSUBAKI NAKASHIMA	1,03 1.02 *	0,75 0,73 *	-37% -40%*

※ 継続事業のみの数字



CO₂ 総排出量

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



※ 上記は継続事業のみの数字

当社はCDP気候変動 (2023年: B- スコア) に参加し、その実績を毎年モニタリングしております。
このたび当社は、SBTイニシアチブ (SBTi) から、温室効果ガス排出量削減目標に関する「Science Based Targets (科学的根拠に基づく目標)」の認定を取得致しました。このようにして、当社はサステナビリティ関連のコミュニケーションにおける透明性と信頼性を実証しております。



APPROVED NEAR-TERM SCIENCE-BASED TARGETS

The Science Based Targets initiative has validated that the science-based greenhouse gas emissions reductions target(s) submitted by TSUBAKI NAKASHIMA CO., LTD. conform with the SBTi Criteria and Recommendations (Criteria version 5.1).

SBTi has classified your company's scope 1 and 2 target ambition as in line with a 1.5°C trajectory.

The official near-term science-based target language:

TSUBAKI NAKASHIMA CO., LTD. commits to reduce absolute scope 1 and 2 GHG emissions 42% by 2030 from a 2022 base year. TSUBAKI NAKASHIMA CO., LTD. also commits to reduce absolute scope 3 GHG emissions 25% by 2030 from a 2023 base year.

DATE OF APPROVAL
10 October 2024

2024年12月期通期連結業績予想および配当予想の修正

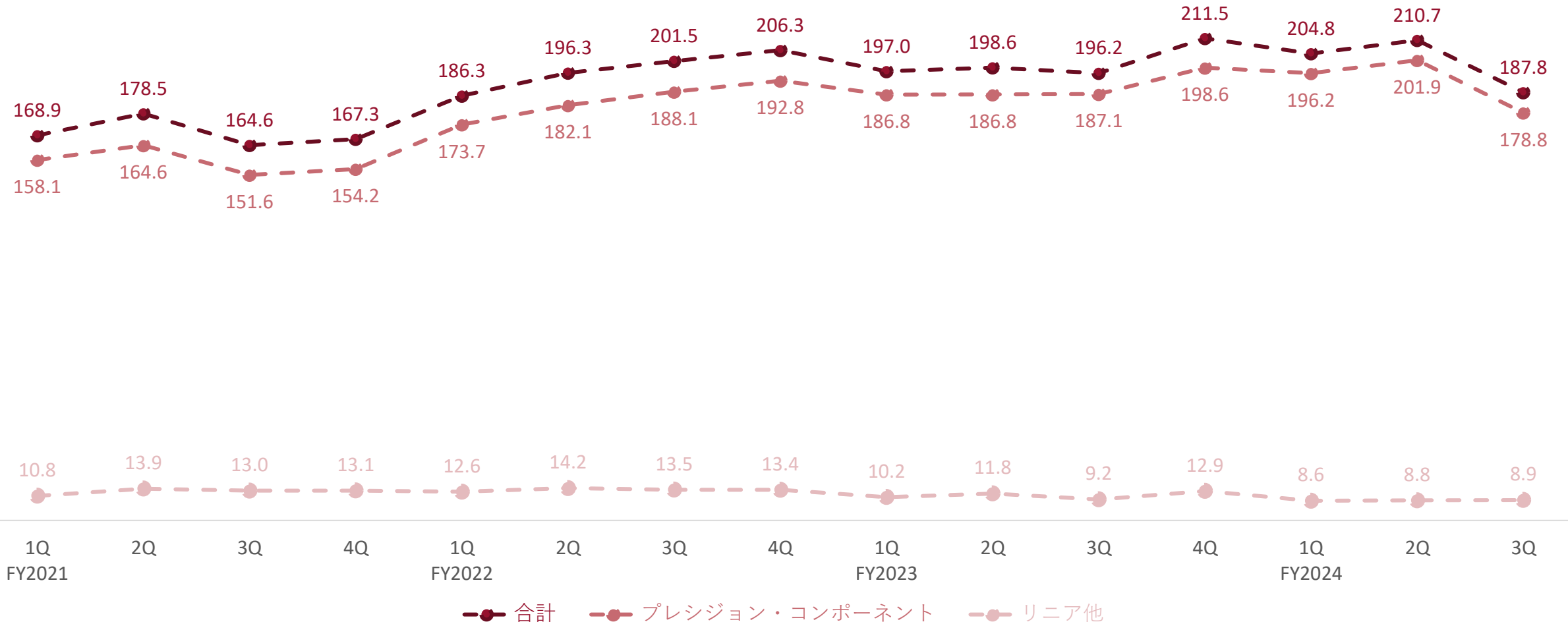
2024年12月期の通期連結業績につきましては、第4四半期において、欧州の自動車生産の回復の遅れや、グローバルにわたる一般産業機器、工作機械の需要回復の遅れが見込まれ、売上収益は前回予想を下回る見込みです。利益につきましても、売上収益の減少に加え、資産効率化に向けて棚卸資産の評価損の更なる計上や一時的な費用（30億円程度）が見込まれ、前回予想を下回る見込みです。配当につきましては、2024年12月期通期連結業績予想の修正を踏まえ、期末の配当予想を10円/株、年間配当25円/株に修正いたします。

(億円)

	前回 予想	修正後	増減額	増減比
売上収益	773.0	750.0	▲ 23.0	▲ 3.0%
営業利益	68.6	5.0	▲ 63.6	▲ 92.7%
税引前当期利益	56.5	▲ 9.0	▲ 65.5	—
当期利益	39.6	▲ 17.0	▲ 56.6	—
基本的1株当たり当期利益(円)	99.68	▲ 42.71	▲ 142.39	—
一株当たり配当 (円)	35	25	▲ 10	—

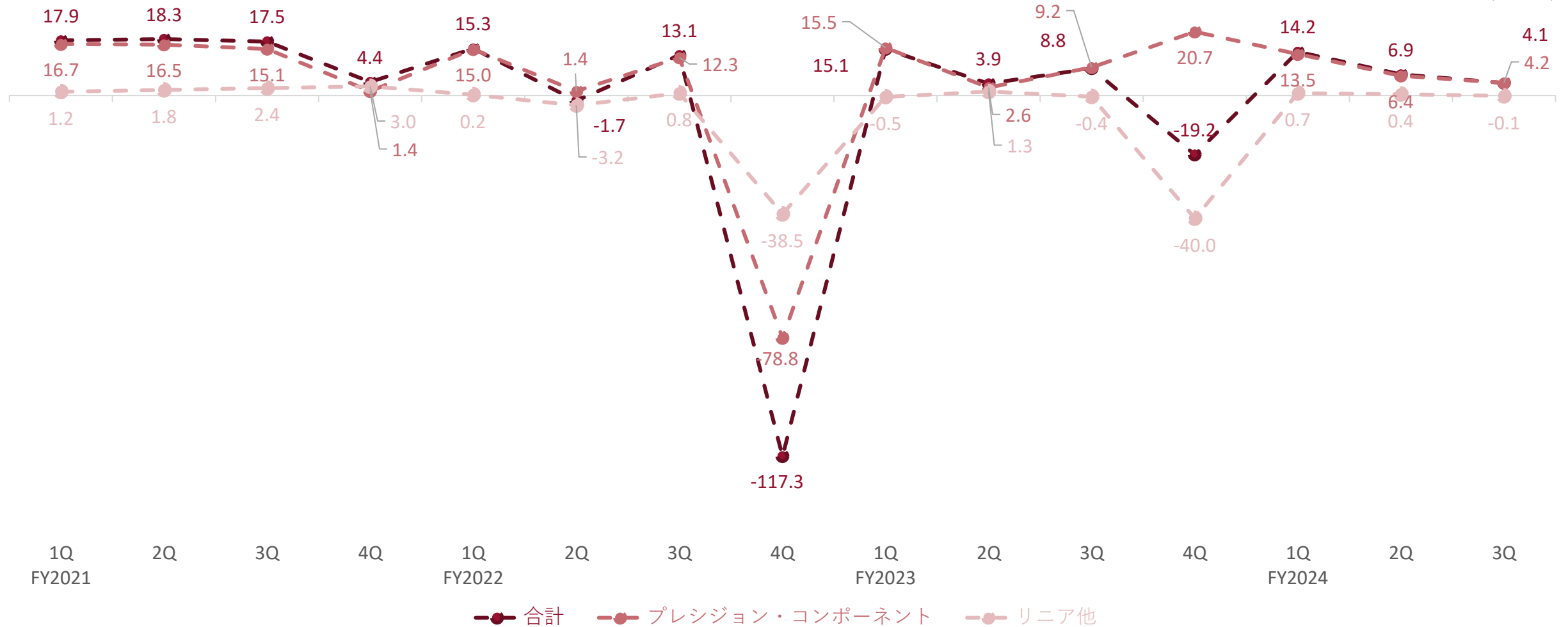
【Appendix】 四半期 連結売上収益推移（非継続事業を含む）

(億円)

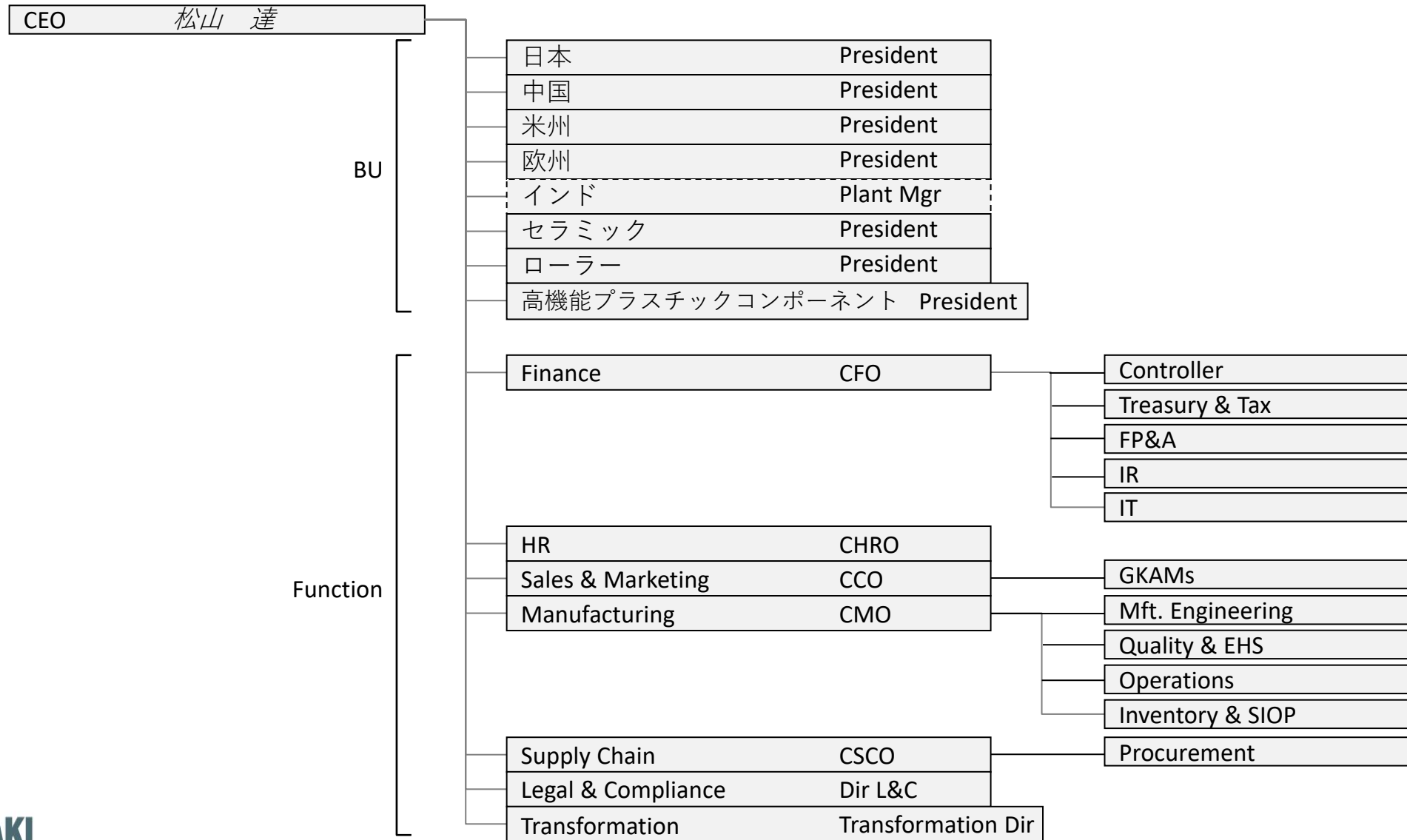


【Appendix】 四半期 連結営業利益推移（非継続事業を含む）

(億円)



【Appendix】組織図（2024年11月現在）



免責事項

本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます）が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。